



民族教育の原点の地で学ぶ～新春合同学習会～



1月10日、朝鮮中高級学校において、市教組と大阪市民族講師会の共催で新春合同学習会を開催しました。教職員、民族講師合わせて61人の参加があり、学習と交流を深めました。

三谷委員長の開会の言葉の後、同校の金采珉（キム・チェヒョン）校長先生から、ご挨拶がありました。

「朝鮮中高級学級があるこの場所は、かつては本庄中学校の西今里分校として朝鮮学校が開校した地であり

ます。同胞たちの思いと日本の教育関係者の尽力によってできた朝鮮学校でした。その後、さまざまな歴史を経て、今日ここに私たちの学校があるわけですが、経営については補助金打ち切り等もあって、たいへん厳しい現状があります。しかし、その中でも民族教育を続けている教員や生徒たちの姿を見ていただきたいと思います。この場所で学習会をされることの意義はとても大きいです。よい学習と交流をなさってください」との言葉をいただきました。

その後、4グループに分かれて中高級学校の施設見学や中学生の授業参観をさせていただきました。校舎は建て替えられたばかりで、建物や教室の設備など素晴らしい環境でした。授業の多くはウリマル（朝鮮語）で行われ、各教科ともソンセンニムの熱心な指導と、生徒の自主的な活動ぶりが印象に残る授業風景でした。日本語や英語での授業もあり、母国語と共に多言語を学べるカリキュラムとなっているようでした。

参観に続いての学習会では、夫才修（プ・ジェス）教務部長から、学校紹介をしていただきました。「本校は、在日コリアンの子どもたちが民族的アイデンティティを確立し、朝鮮人としての誇りを持って生きていく力を育むことを目的としています。日本の学校と同様に週30時間の授業です。部活動も盛んで、サッカーやラグビーなどの運動部、吹奏楽や美術の芸術部、朝鮮舞踊や民族楽器を学ぶ民族文化部などです。生徒は中・高の計323人で、主に在日4世が中心です。大阪府内をはじめ、奈良、和歌山、兵庫、京都からも通学しており、片道2時間以上かけて通う生徒もいます。教員も在日3世や4世が多く、生徒と共に民族教育を支えています」との説明を受けました。



戦後の民族教育の歩みも語られました。「1945年の日本の敗戦と朝鮮の解放を機に、在日朝鮮人たちは失われたウリマル（朝鮮語）を取り戻すため、各地に「国語講習所」を開設。1945年10月には在日朝鮮人連盟（朝連）が結成され、講習所は正規の学校へと整備された。しかし、1948年にGHQの指示により朝鮮学校の閉鎖命令が出され、これに対して在日同胞が抵抗した「4.24教育闘争」が勃発。この闘争は、民族教育を守るための象徴的な出来事だった。学校の沿革としては、1952年に高級学校が創立され、1957年に朝鮮民主主義人民共和国からの教育援助費で新校舎が建設された。1973年には東大阪市菱江に移転し、約50年間その地で教育を続けてきたが、今年度4月に東成区の現在の新校舎へ移転。この地は、民族教育の原点ともいえる場所であり、移転を新たな歴史の一歩としたい」とのお話でした。

続いて、市教組・中松書記長からは今年度の平和学習の取り組みの報告がありました。戦後80年を機に、「大阪大空襲」「知覧FW」「マンガと戦争」など戦争や平和についての学習会を数多く実施したこと、平和教育の実践を「継承」することの重要性が語られました。



民族講師の高己蓮ソンセンニムからは、現代社会における排外主義の問題も深く掘り下げられました。「日本人ファースト」などのスローガンや、特定の政治家によるデマの拡散、藤沢市のモスク建設を巡る騒動などを取り上げ、経済的不安や社会的分断が排外主義を助長する構造が明らかにされました。特に、朝鮮学校の高校無償化除外やヘイトスピーチなど、在日コリアンや外国人労働者への差別の実態を指摘され、排外主義は単なる感情ではなく、社会的・政治的な構造の中で再生産されていることが強調されました。

最後に、崔光沢ソンセンニムと金景姫ソンセンニムから、大阪市における外国人教育の歴史と現状が報告されました。1970年代以降、民族学級は、子どもたちの声により西成区などで広がりを見せたが、講師の身分保障が長年なされず、19年間にわたってボランティアで支えられてきた。1992年により制度化され、2001年には「在日外国人教育基本方針」が策定されたが、2009年の橋下氏による市政下で講師削減の危機に直面。その後、2017年には「国際クラブ」へと名称変更され、2020年には「受け入れ共生事業」が発足。現在は、外国人児童生徒の急増に対応するため、4つの支援拠点が設置され、コーディネーターが学校を支援していることがダイジェストで報告されました。

しかし、支援体制は飽和状態にあり、順番待ちが発生している現状や、日本語教育が優先されるあまり、子どもたちのアイデンティティ形成に不可欠な母語・母文化教育の機会が失われがちであることも課題として挙げられました。多忙な学校現場では新たな「国際クラブ」の設置も難しく、現場の負担が大きい状況です。講師は、在日コリアンが闘いの中で築いてきた民族教育の精神を、現代の多文化社会に生きる子どもたちの支援に活かし、一人ひとりが尊重される社会の実現をめざすべきだと訴えました。（裏面に続く）

その後、昼からは食堂ホールに移動し、ソンセンニムに作っていただいたチゲ鍋をいただきました。本場の味付けに舌鼓を打ちながら、グループでの交流がすすみました。その場で授業見学や学習会の振り返りも行われ、参加者から質問がたくさん出ました。

夫才修教務部長に再登場いただき、中高級学校についての質問に対してわかりやすく答えていただきました。

今回の合同学習会では、戦後の民族教育のあゆみを学び、現代の課題に向き合いながら、教育の役割を再確認する貴重な機会となりました。多文化共生社会の実現に向け、市教組は取り組みをすすめていきます。



マイルドなお味のチゲでした！



ブラックジャック展へ行こう！～青年サークル NEXT～



12月7日、市教組青年サークルNEXTが、あべのハルカス美術館で開催されている「ブラックジャック展」の見学に行きました。当日は、青年層10人が参加し、手塚治虫さんの代表作であるブラックジャックの世界を堪能しました。

展示会は、「B・Jとキャストたち」「B・J誕生秘話」「B・J曼荼羅」「B・J蘇生」の4つのテーマで構成されており、原画や映像、立体展示を通じて作品世界に没入し

ました。特に、医療現場での葛藤や命に向き合う主人公ブラック・ジャックの姿勢に、参加者は深い感銘を受けた様子でした。命の尊さや医療倫理、社会的な正義等、作品のメッセージが、教育の本質と重なることをも多く、考えさせられる展示がたくさんありました。

見学後は、近隣のお好み焼店で交流会が開かれました。「手塚治虫さんの原画の美しさに驚かされた。白と黒の使い方が緻密すぎる」「手塚治虫さんの伝記は、国語の教科書（東京書籍5年）でも登場するので、その背景が知れてよかった」といった声が聞かれました。

NEXTは、2月6日（金）に「NEXT交流会」をピンポンバー天満橋店にて開催します。今後もさまざまな活動を通じて仲間の輪を広げていきます。LINE登録ならびにイベントへの参加をお待ちしています！



戦跡と国会をめぐる旅～東京フィールドワーク～



12月25～26日、「平和と環境を考える東京フィールドワーク」が行われました。15人が参加し、戦争に関する博物館や、国会議事堂などを訪ねました。以下は参加者の手記です。

「東京平和学習フィールドワークの学びと気づき」

靖国神社は思っていた以上に広く、静かな場所でした。本殿で直角に礼をする人の姿に、仲間が「異様だった」と感想を漏らしていました。境内には「さざれ石」も展示されており、これから岩になるのかと不思議な気持ちになりました。

戦死した兵士の遺書も配布されており、「立派なる戦死をいたしますよ」と両親に伝える文面に、受け取った家族の気持ちを想像せずにはられません。検閲や時代の空気の中で本心が書けなかった可能性もあり、それを「尊いもの」として

紹介することには違和感を覚えました。

次に訪れた千鳥ヶ淵戦没者墓苑では、「沖縄188140」と記された石のパネルに目が留まりました。沖縄が「海外」として扱われていることに疑問を感じ、昭和館でも同様の表記がありましたが、館の方によると「遺骨収集の場所」とのことでした。昭和館では青空教室のジオラマが展示されており、私は教科書の墨塗りに注目していましたが、仲間が「男女で座る位置が分かっている」と気づいたのがさすがでした。

2日目は参議院会館へ。60歳を超えると給料が7割になる問題について話し合い、「同一価値労働・同一賃金」の原則から外れていると実感しました。国会議事堂に入るのは初めてで、まるでテーマパークのような気分でした。

最後は第五福竜丸展示館へ。船の大きさに驚き、事件について自分がいかに知らなかったかを痛感しました。被曝者の差別や、核実験による世界中の被害にも思いを馳せました。

個人では行けない場所や、仲間との気づきがあったことで、組合のフィールドワークの価値を改めて感じた2日間でした。ありがとうございました。



【広報部メモ】 11月、全国人権・同和教育研究大会に初めて協力者（司会者）として参加した。5本の報告を聞き、それについての参加者の意見交流、司会者団との語らいの場に身を置く中で、我々大人にとっての「学力」とは子どもたちの「学び」を保障する「力」ではないのかと考えた。改めて人権教育の大切さを確認でき、翌日の生徒を見る目がなんとなく柔らかい自分に気づいた。（K）